

オリンピック・パラリンピック特集

新型コロナウイルス感染拡大の影響で1年延期になった東京2020オリンピック・パラリンピック。北海道でも開催される競技があり、みなさん楽しみにしていますよね。暗い話題の多い世の中ではありますが、開催を楽しみに待ちましょう！

パラリンピック特有の競技

オリンピックにはないパラリンピックならではの競技をご紹介します♪開催前にルールや見どころを押さえて、より楽しく観戦しましょう！



地上のカーリング「ボッチャ」

脳性麻痺もしくは四肢麻痺など重度障がいのある人の為に考案された球技です。イタリア語で「ボール」を意味し、その名の通りボールを使う競技です。最初にジャックボールと呼ばれる白いボールが投げられた後、対戦する両者がそれぞれ赤・青のボールを各6個投げ、いかにボールを目標へ近づけるかを競います。カーリングと似ているため、「地上のカーリング」とも言われているそうです♪ボールはそれぞれ縫い目や素材が異なるため、どのボールをどのように投げるか見極めが肝心だそうです。難しそう！



静寂の中の戦い「ゴールボール」

視覚障がいのある人を対象にしたチーム球技です。3対3で行い、障がいの程度に関係なく全プレイヤーはアイシェード(目隠し)を装着し全盲の状態です。鈴の入ったバスケットボール大のボールを転がし、相手のゴールに入れて得点を競い合う競技です。プレイヤーにとって鈴の音や相手選手の足音が勝利へのカギなので、オーディエンスは静か見守ることが必要です。静寂の中で繰り広げられる白熱した戦いに注目です！



注目の新種目！オリンピック4競技まとめ

東京2020から新たに追加された競技を紹介します！



スケートボード

若者の遊びという印象を持つ方も多いのではないのでしょうか？スケートボードは今や世界で人気上昇中のスポーツです。ルールを詳しく知らなくても、デッキ(板)ひとつで繰り広げられる技や華麗な滑りに圧倒されること間違いなし！軽快なBGMの中で行われるため、他の競技にはない雰囲気味わえるでしょう♪

【ストリート】 手すりや階段、縁石などの街中にあるような障害物が設置されたコースです。障害物の上をバランス良く滑り、様々な技を繰り出していきます。

【パーク】 複雑な窪地のあるコースです。斜面を利用して空中を高く飛びジャンプや、迫力のあるスピード感満載の滑りに注目です！



サーフィン

一度に4人ずつ競技を行い、内2人が勝ち抜く「4メンヒート」が採用されており、波乗りのスピードやパワー、技の難易度・積極性などが評価され、得点を競い合います。特徴的なのは「一つの波に一人しか乗れない」ということ。選手たちのポジション取りや駆け引きに注目です！波や風の向きを読む判断能力も求められます。大波の中のトンネルを抜ける「チューブ」、勢いよくダイナミックに空中に飛び出す「エアリアル」など、観戦中にどれだけの大技が見られるか楽しみです！



スポーツクライミング

ボルダリング・リード・スピードの3種目の合計点を競います。**【ボルダリング】** 約4mの壁の一番上にあるホールドを掴むとクリア。途中で落ちてしまっても時間内なら何度でも登れるため、選手たちの大胆に挑む姿が見どころです。

【リード】 6分以内に15mの壁をどこまで登れるかを競います。最後まで登るには厳しく設定されていますが、一度落ちてしまったら再挑戦はできないため慎重かつ勢いが大事です。見ている側も緊張しますね。

【スピード】 15mの壁を登る速さを競います。エレベーターに勝る速さで登り切ってしまうので瞬き厳禁です！迫力満点なのでクライミングを初めて見る方におすすめです！



空手

沖縄発祥の空手が日本開催のオリンピックで初めて実施されるのは嬉しいですね。熱い声援を送りましょう！

【組手】 1対1で戦います。先に8ポイント差をつけた方の勝ちです。突き・蹴り・打ちの3種類の技のみ使用できます。一瞬の駆け引きで勝負が決まるので観戦中は目が離せません！

【形】 仮想の敵に対する攻撃・防御の技を組み合わせた演武を一人で行います。初戦から決勝まで同じ演武をしてはいけないため、どの技をいつ使うかがポイントです。



聖火リレー

オリンピック聖火リレーの日程は3月25日～7月23日と4か月ほどあります。その中で北海道の地を聖火ランナーが走るのは6月13日と14日の2日間。その日の最後に聖火の到着を祝うセレモニーが催され、13日は白老町の民族共生象徴空間(ウポポイ)、14日は札幌市北3条広場(アカブラ)にてセレブレーションが開催されます。聖火ランナーを務める著名人は、スピードスケート選手の高木菜那さん、美帆さん姉妹。スノーボードの竹内智香さん。元バスケットボール選手の折茂武彦さんなどが

予定されています。聖火リレーで使われるトーチは桜をモチーフに作られており、色はオリンピックが桜ゴールド、パラリンピックが桜ピンクとなっています。ものづくり日本を象徴するようなどとも美しい形状になっています。トーチの一部は東日本大震災の復興仮設住宅に使用されたアルミ建築廃材を再利用しているそうです。震災から人々の復興を見守ってきた仮設住宅の一部が今度は選手たちの活躍を見守ることになるんですね。



ふくろう通信

NO.18



発行年月日
2021年2月15日

ふくろう通信NO.18

発行人
脇坂 一哉
編集
ふくろう通信編集委員会
お問い合わせ先
札幌市白石区流通センター
5丁目7番1号
株式会社いちたかガスワン
業務保安部
電話0120-296-365